

十勝川中流部市民協働会議 報告会

平成26年8月30日

帯広開発建設部 帯広河川事務所

報告内容

- 川づくり(案)の進捗状況
- 今年度以降の動き

川づくり(案)について

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第10回十勝川中流部川づくり報告会

【音更川合流点より上流】

合意事項

- ・左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- ・連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- ・中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4
左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

【音更川合流点下流①】

合意事項

- ・左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケシウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- ・右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

ケシウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)
音更町

【相生中島上流左岸】

合意事項

- ・左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- ・樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

H25完了
(H26.5.15現地確認済)

【施工直後】 【施工後約10年のイメージ】
野生動物の移動に配慮し樹林の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更側を掘削 現在の草原環境を保全

【相生中島より下流】

合意事項

- ・中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- ・右岸側にショウドウツギの集団発生地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了
(H26.5.15現地確認済)

左岸と中洲を平水位で掘削
河原原化
左岸を平水位で掘削



【音更川合流点より下流②】

合意事項

- ・中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。支流は保全する。
- ・併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

支流を保全
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削

【相生中島上流右岸】

合意事項

- ・右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- ・再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹林の連続性を確保
音更町
湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削

【メン川合流点下流】

合意事項

- ・メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- ・平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- ・施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

川側河畔林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
十勝エコロジーパーク
音更町 河床掘削 帯広町

【途別川合流点下流】

合意事項

- ・河床部を掘削する。
- ・右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

草原環境とする
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広町

【十勝川温泉より下流】

合意事項

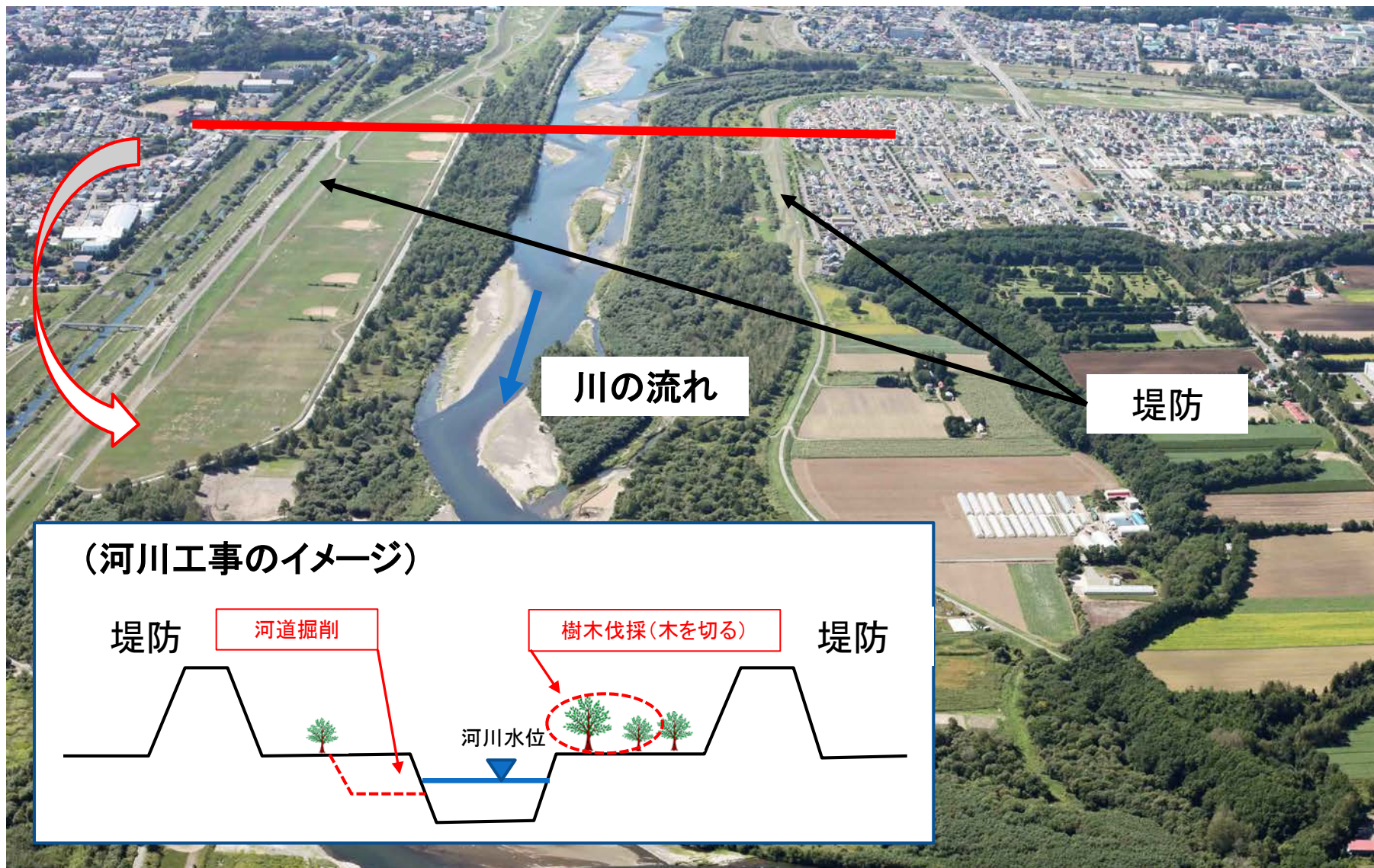
- ・樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- ・十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

河畔林伐採
浅場環境の形成
河床及び右岸高水敷掘削
音更町 帯広町



河川工事のイメージ



川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第10回十勝川中流部川づくり報告会

【音更川合流点より上流】

合意事項

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4
左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

【音更川合流点下流①】

合意事項

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケシウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

ケシウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
音更町
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)
帯広市

【相生中島上流左岸】

合意事項

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

H25完了
(H26.5.15現地確認済)

【施工直後】 【施工後約10年のイメージ】
野生動物の移動に配慮し、樹林の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更側を掘削 現況の草原環境を保全
帯広市

【相生中島より下流】

合意事項

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にショウドウツギの集団発生地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了
(H26.5.15現地確認済)

左岸と中洲を平水位で掘削
河原形成
音更町
左岸を平水位で掘削



【音更川合流点より下流②】

合意事項

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

枝流を保全
平均年最大水位
音更町
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削

【相生中島上流右岸】

合意事項

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

河岸側を50m幅で保全
樹木伐採
樹林の連続性を確保
音更町
帯広市
湿地環境とし再樹林化を防止
音更側を掘削

【メン川合流点下流】

合意事項

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

川側河畔林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
音更町
帯広市
河床掘削

【途別川合流点下流】

合意事項

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

草原環境とする
平均年最大水位
平水位で掘削
音更町
帯広市

【十勝川温泉より下流】

合意事項

- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

河畔林伐採
平均年最大水位
平水位で掘削
音更町
帯広市
浅場環境の形成
河床及び右岸高水敷掘削

伐開区域凡例		掘削部凡例	
	密→疎		河床掘削
	伐開		平水位掘削
			高水敷掘削

現況写真1(樹木伐採)



学生と連携し草地形成を進める予定(継続)

川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第10回十勝川中流部川づくり報告会

【音更川合流点より上流】

合意事項

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4 左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

【音更川合流点下流①】

合意事項

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケシウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

ケシウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
音更町
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)
音更町

【相生中島上流左岸】

合意事項

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

H25完了
(H26.5.15現地確認済)

【施工直後】 【施工後約10年のイメージ】
野生動物の移動に配慮し樹林の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更町
帯広市
帯広市側を平水位で掘削 現況の草原環境を保全

【相生中島より下流】

合意事項

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にショウドウツギの集団発生地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了
(H26.5.15現地確認済)

左岸と中洲を平水位で掘削
河原形成
音更町
左岸を平水位で掘削



【音更川合流点より下流②】

合意事項

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

KP 54.4 枝流を保全
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削
音更町

【相生中島上流右岸】

合意事項

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

KP 53.6 河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹林の連続性を確保
音更町
帯広市
湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削

【メン川合流点下流】

合意事項

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

KP 46.2 川側河畔林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
音更町 帯広市
河床掘削

【途別川合流点下流】

合意事項

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

KP 47.8 草原環境とする
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広市
平水位で掘削

【十勝川温泉より下流】

合意事項

- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

KP 47.2 河畔林伐採
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広市
浅場環境の形成 河床及び右岸高水敷掘削

伐開区域凡例		掘削部凡例	
	密→疎		河床掘削
	伐開		平水位掘削
			高水敷掘削

現況写真2(河道掘削・樹木伐採)



学生と連携し湿地形成を進める予定(継続)

川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第10回十勝川中流部川づくり報告会

【音更川合流点より上流】

合意事項

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

【音更川合流点下流①】

合意事項

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケシウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

ケシウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)

【相生中島上流左岸】

合意事項

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

H25完了 (H26.5.15現地確認済)

【施工直後】 【施工後約10年のイメージ】

【相生中島より下流】

合意事項

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にショウドウツギの集団増殖地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了 (H26.5.15現地確認済)



【音更川合流点より下流②】

合意事項

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。支流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

【相生中島上流右岸】

合意事項

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

【メン川合流点下流】

合意事項

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

【途別川合流点下流】

合意事項

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

【十勝川温泉より下流】

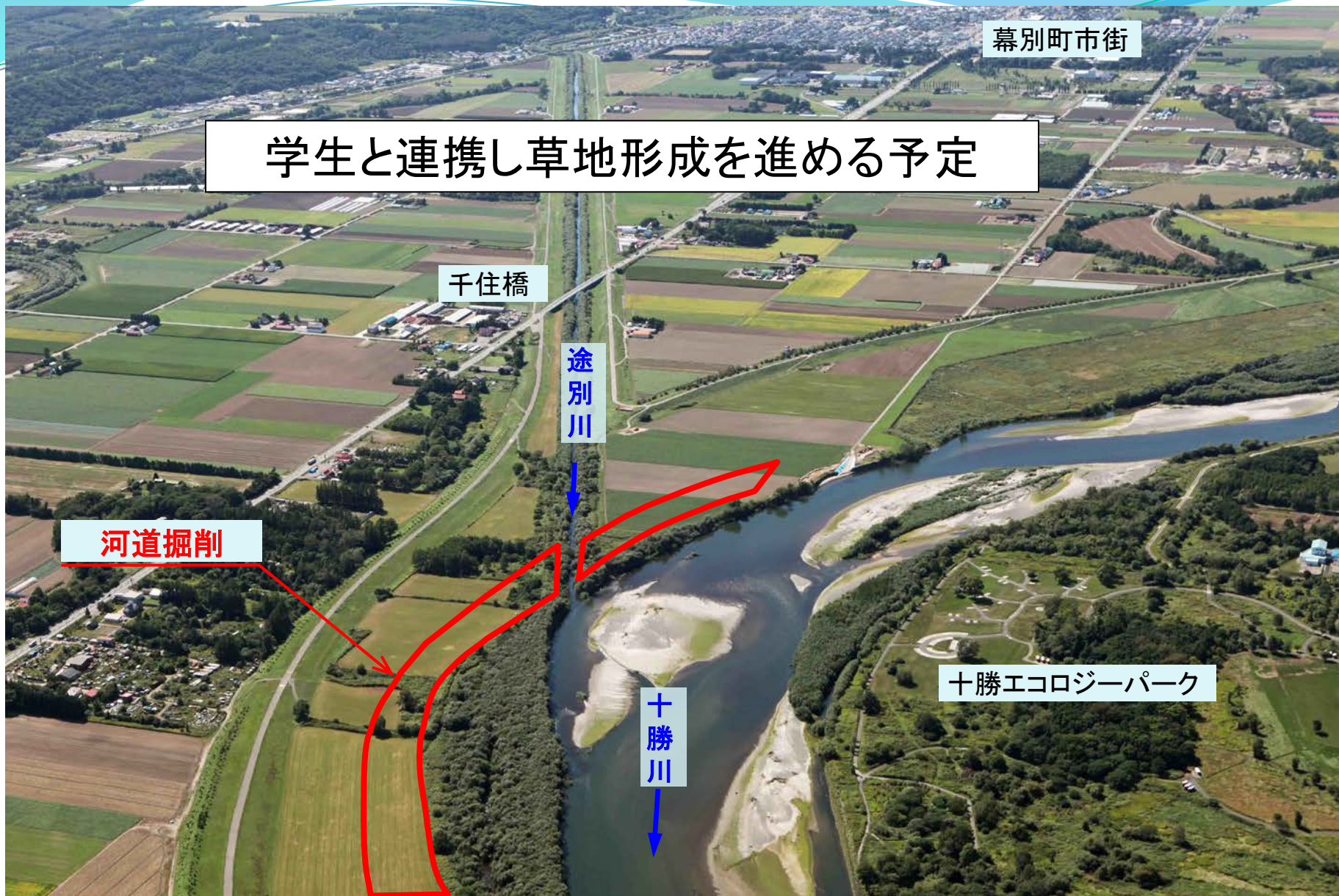
合意事項

- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

伐開区域凡例	掘削部凡例
密→疎	河床掘削
伐開	平水位掘削
	高水敷掘削

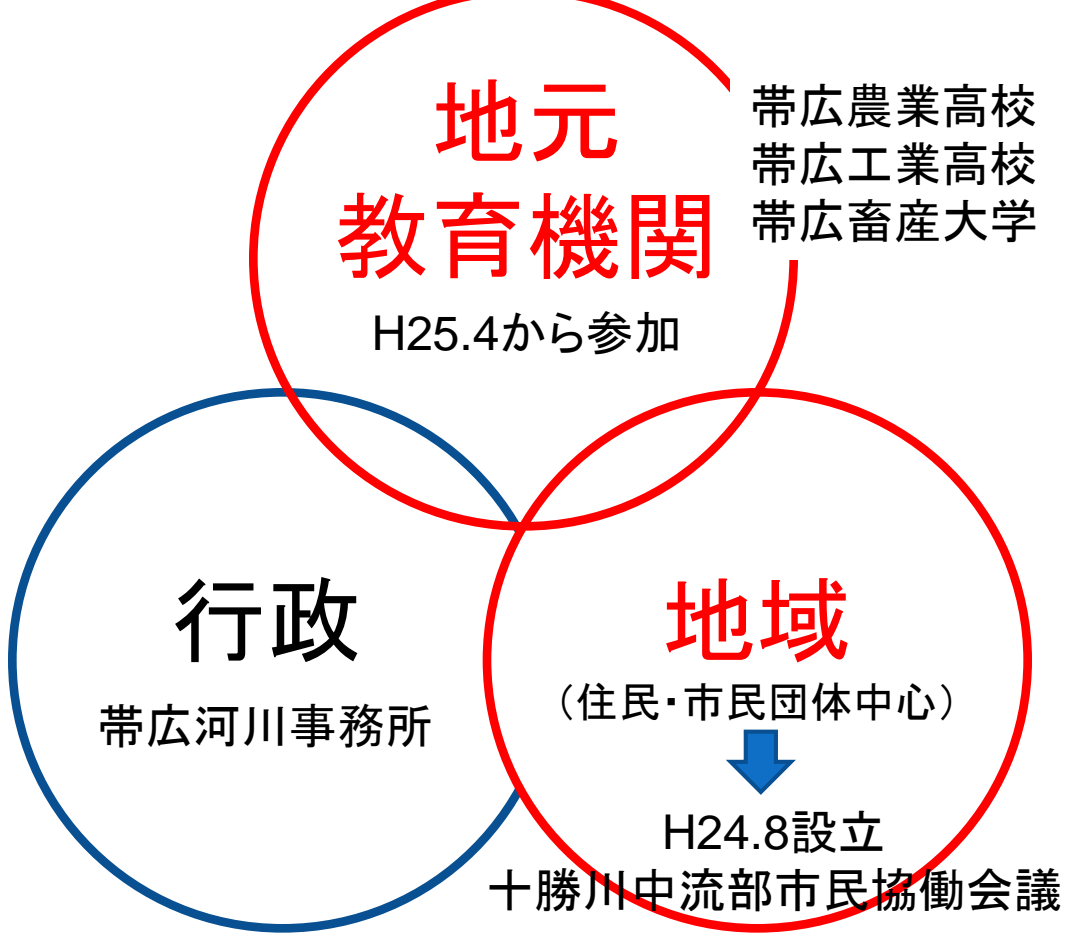
現況写真3(河道掘削)



平成24年9月撮影

今年度以降の動き（継続）

- 十勝川中流部における工事について、「十勝川中流部市民協働会議」と密に連携し確実に実施する。
- 十勝らしい環境保全を考える。



十勝川中流部市民協働会議の役割

Plan: 行政 (WS意見反映)
Do: 行政
Check: 市民協働会議
Act: 行政と市民協働会議

PDCA型河川管理として地域連携した河川整備・管理を実施